

# すくわくプログラム2



## ①家族のいない野菜って？

これまでの活動で、大根や芋類を育て、収穫し、調理してきた子ども達に「じゃがいもやさつまいもは、根っこで家族が沢山繋がっていたけど大根はどうか？」と問うと「家族がいない」「1個ずつだった」という答えが上がりました。

野菜には、種があるものとないものがあることに気づいた子ども達と一緒に、“種から育つ野菜”についてスポットを当てて探求することにしました。



## ②この種は何の野菜？

今回は、すくわくプログラムのコーディネーター講師を招き、共に活動を進めてもらいました。普段、子どもたちに馴染みのある野菜から、大根・人参・ピーマン・苺とその野菜の種を見せ、「どの種がどの野菜になると思う？」というクイズを出しました。

それを調べるために、虫眼鏡を使って野菜の種と実際の野菜と見比べたり、ナイフで切って断面を観察したり、投影機で拡大して映してみたりしながら探求を進めていきました。「ピーマンの中に種が入っている」「苺の粒がこの種みたい」と予測しながら考える姿が見られました。



## ③全問正解！

「もっと小さく切ってみたい」「投影機でもっと大きく映してみたい」等、子ども達の探求欲は留まるどころを知りません。最終的に子ども達の出した答えは、全問正解でした。「どうしてわかったの？」と理由を聞くと、「大根の種から匂いがしたから」「苺の種をつまようじで取ってみたら同じ形だった」等、子どもなりの見解が見られました。

最後にコーディネーターさんに「ありがとうございました」とお礼をし、「実験、楽しかった」「もっとやりたかった」等、沢山意見を伝えていた子ども達です。おやつの中には、苺を藤原先生グループにお裾分けをし、作ってもらったシチューも味見させてもらって大満足の子どもたちでした。



(作成者：伊藤 詠子)